

注3

大学番号：国066

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

山口大学 人文学部 人文学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人山口大学

平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画戦略部企画・評価課企画係

職名・氏名 副課長（併：企画係長） ツチダ マコト
土田 誠

電話番号 083-933-5956

（夜間） 083-933-5956

F A X 083-933-5959

e-mail sh041@yamaguchi-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人文学部

<人文学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	19
6. 留意事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	26

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山口大学

(2) 大学名

山口大学

(3) 大学の位置

〒753-8511
山口県山口市吉田1677-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月1日)		
学部長	(タカギ サトミ) 高木 智見 (平成28年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
人文学部 人文学科 学士 (文学)	4年	185人	0年次人	740人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	185人 (-) [-]	人	185人 (-) [-]	人	人 (-) [-]	人	人 (-) [-]	人	1.03倍	
志願者数	759 (-) [2]	- (-) [-]	769 (-) [2]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	526 (-) [2]	- (-) [-]	510 (-) [1]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	205 (-) [0]	- (-) [-]	220 (-) [0]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	185 (-) [0]	- (-) [-]	199 (-) [0]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.00		1.07							

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[-] 185	[-]	[-] (-) 199	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -		
2年次	/		[-] (-) 184	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -		
3年次			/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	
4年次					/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -
計			[-] (-) 185	[-] (-) 383			[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<人文学部 人文学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養コア	基礎セミナー	1前	2			23 22 25	18 19 17	3			兼2 兼3 兼4 兼1 兼2 兼1	担当教員の昇任、退職及び採用に伴う変更 (29) 具体的な担当教員の確定による変更 (28) 教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28) 教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28)	
	情報リテラシー演習	1前	1								兼1	教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28)	
	情報セキュリティ・モラル	1前	1								兼1	教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28)	
	運動健康科学	1前・後	1								兼2 兼1	教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28)	
	山口と世界	1前・後	1								兼16 兼14	教育効果を高めるため、担当教員を追加 (29) 教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28)	
	知の広場	1前・後	1								兼1	教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28)	
	キャリア教育	3前・後	1								兼1	教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28)	
英語	英語 I a	1前		2							兼1	英語の授業科目を担当する組織によるカリキュラム変化に伴う変更 (29)	
	英語 II a	1前		2							兼4		
	英語 I b	1後		2							兼1		
	英語 II b	1後		2							兼4		
	英語会話 I a	1前		2							兼2		
	英語会話 II a	1前		2							兼6		
	英語会話 I b	1後		2							兼2		
	英語会話 II b	1後		2							兼5		
	TOEIC準備	1前	1				2 6 1				兼2 兼1 兼7		具体的な担当教員の確定による変更 (28) 教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28)
	Basic English	1前・後		1							兼1 兼5		教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28)
	English Speaking	1後・2前	2								兼1		教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28)
	TOEIC認定400	1-2-3-4		1							兼1		教育効果を高めるため、教員を追加 (28)
	英語リーディング	1後・2前		2			1	1			兼1		教育効果を高めるため、教員を追加 (28)
	英語ライティング	1後・2前		2							兼1		具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	英語特別演習	1後・2前		2			0 6				兼1		具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	Comprehensive English	2前・後		2							兼1		具体的な担当教員の確定による変更 (28)
TOEIC認定500 (TOEFL450)	1-2-3-4		2							兼1	具体的な担当教員の確定による変更 (28)		
TOEIC認定600 (TOEFL500)	1-2-3-4		2							兼1	具体的な担当教員の確定による変更 (28)		
海外英語研修	1後		4							兼1	具体的な担当教員の確定による変更 (28)		
人文教養	哲学	1前・後	1			5 4 3 2	3					教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28) オムニバス 担当教員の採用に伴う変更 (29) 具体的な担当教員の確定による変更 (28)	
	歴史学	1前・後	1			3 3 4	4	2			兼1	オムニバス 具体的な担当教員の確定による変更 (28)	
	社会学	1前・後	1			4	3					オムニバス	
社会教養	経済と法 1	1前・後	1								兼3 兼1	教育効果を高めるため、担当教員を追加 (29)	
	経済と法 2	1前・後	1								兼4 兼5 兼1	教育効果を高めるため、担当教員を変更 (29) 教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28)	
	経済と法 3	1前・後	1								兼4 兼2 兼1	教育効果を高めるため、担当教員を追加 (29) 教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28)	
自然教養	自然科学 1	1前・後	1								兼2	教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28)	
	自然科学 2	1前・後	1								兼1 兼1	教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28)	
一般教養											兼3	教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28)	

学 際 的 教 養	人間の発達と育成 1	1前・後	1																	兼 1 兼 11 兼 10 兼 4 兼 6 兼 1 兼 9 兼 4 兼 4 兼 1 兼 1 兼 2 兼 4 兼 2 兼 1	教育効果を高めるため、担当教員を追加 (29) 教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28) 教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28) 教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28) 教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28) 教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28) 教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28)	
	人間の発達と育成 2	1前・後	1																	兼 2 兼 4 兼 4	教育効果を高めるため、担当教員を追加 (29) 教育効果を高めるため、担当教員を変更 (28)	
	文化の継承と創造 1	1前・後	1																			
	文化の継承と創造 2	1前・後	1																			
	社会と医療	1前・後	1																			
	科学技術と社会	1前・後	1																			
	環境と人間	1前・後	1																			
	食と生命	1前・後	1																			
	教 職 基 礎	日本国憲法	1前・後				2															
		スポーツ運動実習	1前・後				1															
	入 門 講 義	文学	1前	1				4 6 7	2 4 3													
		言語学	1前	1				4 6	2 3			1										
	外 国 語 系	ドイツ語初級前期	1前		4			1	1													
		ドイツ語初級後期	1後		4			1	1													
		ドイツ語中級 I	2前		2			1	1													
		ドイツ語中級 II	2前		2			1	1													
		ドイツ語中級 III	2後		2			1	1													
		フランス語初級前期	1前		4			1	1													
		フランス語初級後期	1後		4			1	1													
		フランス語中級 I	2前		2			2	2													
		フランス語中級 II	2前		2			2	2													
		フランス語中級 III	2後		2			2	2													
		中国語初級前期	1前		4			2	2													
		中国語初級後期	1後		4			2	2													
中国語中級 I		2前		2				3														
中国語中級 II		2前		2				3														
中国語中級 III		2後		2				3														
英会話 I		2前		2																		
英会話 II	2後		2																			
英作文	2後 2前		2				3 4															
時事英語	2前 2後		2				4 3	1														
英米事情	2前		2				4	1														
リ テ ラ シ ー 科 目 群	日本語	1前・後		2~																		
	日本語 1-A	1前		2																		
	日本語 1-B	1後		2																		
	日本語 2-A	1前		2																		
	日本語 2-B	1後		2																		
	日本語 3-A	1前		2																		
	日本語 3-B	1後		2																		
	日本語 4-A	1前		2																		
	日本語 4-B	1後		2																		
	日本語 5-A	1前		2																		
	日本語 5-B	1後		2																		
専 門 科 目	必読名著	1後	2				23	18														
	現代文献講読	2前		2			25	17	3													
	英語専門文献読解	2前		2			9	2	1													

		くずし字 (変体仮名)	2前	2	1	1										
		くずし字 (基礎)	2前	2		1	1	1								
		くずし字 (展開)	2後	2		1	1	1								
		古文	2前	2	1	1	1					教育効果を高めるため、担当教員を追加 (29)				
		中国漢文 (基礎)	2前	2	2	1	1					具体的な担当教員の確定による変更 (29)				
		中国漢文 (展開)	2後	2	1	1	1					具体的な担当教員の確定による変更 (29)				
		変体漢文 (基礎)	2前	2	1	1	1									
		変体漢文 (展開)	2後	2	1	1	1									
		ラテン語	2前	2			2	1								
		ギリシア語	2前	2	1											
	実習系	量的調査データ解析法入門	2前	2		1										
		量的調査データ解析法基礎	2前	2			1						担当教員の昇任に伴う変更 (29)			
		質的調査データ解析法	2前	2		1	1						具体的な担当教員の確定による変更 (29)			
		図学	2前	2			1									
		音声学	2前	2		2	1				兼 1		具体的な担当教員の確定による変更 (29)			
		論理	2前	2		2	1									
		論理 (言語処理)	2前	2		3	1									
		論理プログラミング	2前	2			1									
		情報処理 (言語情報)	2前	2			1									
		情報処理 (思考支援)	未開講 2前	2			1						授業の難易度を考慮し、3年次に履修させることが望ましいと判断したため変更 (29)			
		図書館概論	1前	2			1									
	PBL系	感性と表現 (伝承文化の解説)	2前	2		2	3						担当教員の退職及び採用に伴う変更 (29)			
		感性と表現 (現代文化の解説)	2前	2		2	2						教育効果を高めるため、担当教員を追加 (29)			
		課題の発見と検証	2前 2後	2			1				兼 1		担当教員の退職に伴う変更 (29)			
		野外調査	2前	2		2	2	1					教育効果を高めるため、開講期を変更 (29)			
		言語と人間	2前	2		4	3				兼 1		教育効果を高めるため、担当教員を変更 (29)			
		哲学と人間	2前	2		1	2						教育効果を高めるため、担当教員を変更 (29)			
		宗教と人間	2前	2			1									
		インターンシップ	3前	1又は2		23 22	18 19	3			兼 2		教育効果を高めるため、担当教員を追加 (29) 担当教員の昇任、退職及び採用に伴う変更 (29) 具体的な担当教員の確定による変更 (28)			
専門科目	人文コア科目	分野入門	哲学概論	1後	2		4	2					教育効果を高めるため、教員を追加 (28)			
			西洋哲学概論 (哲学)	2前	2		1	1								
			西洋哲学概論 (倫理学)	1後	2			1								
			東洋思想史概論 (中国)	1後	2		1									
			東洋思想史概論 (日本古代中世)	2前	2		1									
			東洋思想史概論 (日本近世)	1後	2			1								
			美学・美術史概論 (美学)	1後	2			1								
			美学・美術史概論 (美術史)	2前	2											
			宗教学概論	1後	2		1									
			日本史概説 (古代・中世)	1後	2		1	1					兼 1		教育効果を高めるため、担当教員を追加 (29)	
			日本史概説 (近世・近現代)	2前	2			1	1							
			日本史入門 (古代)	1後	2		1						兼 1		教育効果を高めるため、担当教員を追加 (29)	
			日本史入門 (中世)	2前	2			1								
			日本史入門 (近世)	1後	2				1							
			日本史入門 (近現代)	2前	2				1							
			東洋史概説	2前	2				1				兼 1			
			東洋史入門 (古代・中世)	1後	2		2						兼 1			
			東洋史入門 (近世・近代)	1後	2				1							
			西洋史概説	2前	2			1		1						
			西洋史入門 (ヨーロッパ)	1後	2					1						
									1							
									0							担当教員採用に伴う変更 (29)
																担当教員退職に伴う変更 (28)
		西洋史入門 (アメリカ)	1後	2		1										
		考古学概説	2前	2		1	1									
		考古学入門 (先史)	2前	2			1									
		考古学入門 (比較)	1後	2		1										
		現代社会学概論 (基礎理論)	1後	2		1										
		現代社会学概論 (社会調査)	2前	2		1	1						担当教員の昇任に伴う変更 (29)			
		社会心理学概論	1後	2		1										
		民俗学・文化人類学概論	1後	2		1	1						担当教員退職及び採用に伴う変更 (29)			

			卒業論文	日本史卒業論文	4通	8		1	2	1	兼 1	担当教員採用に伴う変更 (29)
				東洋史卒業論文	4通	8		1	1			
			卒業論文	西洋史卒業論文	4通	8		1		1	兼 1	担当教員退職に伴う変更 (28)
				考古学卒業論文	4通	8		1	1			
			特殊講義	現代社会学特殊講義(地域福祉)	2後	2		1	1		兼 1	教育効果を高めるため、開講期を変更 (29) 担当教員の昇任に伴う変更 (29)
				現代社会学特殊講義(コミュニティと災害)	3前 3後	2		1				
			特殊講義	社会心理学特殊講義(社会問題)	2後	2			1		兼 1	教育効果を高めるため、開講期を変更 (29) 担当教員退職及び採用に伴う変更 (29)
				社会心理学特殊講義(コミュニケーション)	3前 3後	2		1				
			特殊講義	民俗学・文化人類学特殊講義(現代民俗)	3前	2		1	1		兼 1	担当教員退職及び採用に伴う変更 (29) 教育効果を高めるため、開講期を変更 (29) 担当教員退職及び採用に伴う変更 (29)
				民俗学・文化人類学特殊講義(生活文化)	2後 3後	2		1	2			
			講読	現代社会学講読	3前	2		2			兼 1	担当教員の昇任に伴う変更 (29)
				社会心理学講読	3後	2		1	1			
			講読	民俗学・文化人類学講読	3後	2		2	3		兼 1	担当教員退職及び採用に伴う変更 (29) 担当教員の昇任に伴う変更 (29)
			実習	現代社会学調査実習(企画と実施)	3前	2		2	1		兼 1	担当教員の昇任に伴う変更 (29) 担当教員の昇任に伴う変更 (29)
				現代社会学調査実習(分析と報告)	3後	2		1	1			
			実習	社会心理学調査実習(企画と実施)	3前	2		1	1		兼 1	担当教員退職及び採用に伴う変更 (29) 担当教員退職及び採用に伴う変更 (29)
				社会心理学調査実習(分析と報告)	3後	2		1	1			
			実習	民俗学・文化人類学調査実習(企画と実施)	3前	2		2	3		兼 1	担当教員退職及び採用に伴う変更 (29) 担当教員退職及び採用に伴う変更 (29)
				民俗学・文化人類学調査実習(分析と報告)	3後	2		2	3			
			演習	現代社会学基礎演習(コミュニティ論)	3前	2		1			兼 1	担当教員の昇任に伴う変更 (29) 担当教員の昇任に伴う変更 (29)
				現代社会学発展演習(コミュニティ論)	3後	2		1				
			演習	現代社会学基礎演習(地域福祉論)	3前	2		1	1		兼 1	担当教員退職及び採用に伴う変更 (29) 担当教員退職及び採用に伴う変更 (29)
				現代社会学発展演習(地域福祉論)	3後	2		1	1			
			演習	社会心理学基礎演習(コミュニケーション論)	3前	2		1			兼 1	担当教員退職及び採用に伴う変更 (29) 担当教員退職及び採用に伴う変更 (29)
				社会心理学発展演習(コミュニケーション論)	3後	2		1				
			演習	社会心理学基礎演習(社会問題論)	3前	2			1		兼 1	担当教員退職及び採用に伴う変更 (29) 担当教員退職及び採用に伴う変更 (29)
				社会心理学発展演習(社会問題論)	3後	2			1			
			演習	民俗学・文化人類学基礎演習(現代民俗論)	3前	2		1	1		兼 1	担当教員退職及び採用に伴う変更 (29) 担当教員退職及び採用に伴う変更 (29)
				民俗学・文化人類学発展演習(現代民俗論)	3後	2		1	1			
			演習	民俗学・文化人類学基礎演習(生活文化論)	3前	2		1	2		兼 1	担当教員退職及び採用に伴う変更 (29) 担当教員退職及び採用に伴う変更 (29)
				民俗学・文化人類学発展演習(生活文化論)	3後	2		1	2			
			演習	現代社会学卒論基礎演習(コミュニティ論)	4前	2		1			兼 1	担当教員の昇任に伴う変更 (29) 担当教員の昇任に伴う変更 (29)
				現代社会学卒論発展演習(コミュニティ論)	4後	2		1				
			演習	現代社会学卒論基礎演習(地域福祉論)	4前	2		1	1		兼 1	担当教員退職及び採用に伴う変更 (29) 担当教員退職及び採用に伴う変更 (29)
				現代社会学卒論発展演習(地域福祉論)	4後	2		1	1			
			演習	社会心理学卒論基礎演習(コミュニケーション論)	4前	2		1			兼 1	担当教員退職及び採用に伴う変更 (29) 担当教員退職及び採用に伴う変更 (29)
				社会心理学卒論発展演習(コミュニケーション論)	4後	2		1				
			演習	社会心理学卒論基礎演習(社会問題論)	4前	2			1		兼 1	担当教員退職及び採用に伴う変更 (29) 担当教員退職及び採用に伴う変更 (29)
				社会心理学卒論発展演習(社会問題論)	4後	2			1			
			演習	民俗学・文化人類学卒論基礎演習(現代民俗論)	4前	2		1	1		兼 1	担当教員退職及び採用に伴う変更 (29) 担当教員退職及び採用に伴う変更 (29)
				民俗学・文化人類学卒論発展演習(現代民俗論)	4後	2		1	1			
			演習	民俗学・文化人類学卒論基礎演習(生活文化論)	4前	2		1	2		兼 1	担当教員退職及び採用に伴う変更 (29) 担当教員退職及び採用に伴う変更 (29)
				民俗学・文化人類学卒論発展演習(生活文化論)	4後	2		1	2			
			卒業論文	現代社会学卒業論文	4通	8		2	1		兼 1	担当教員の昇任に伴う変更 (29) 担当教員退職及び採用に伴う変更 (29) 具体的な担当教員の確定による変更 (28)
				社会心理学卒業論文	4通	8		1	1			
			卒業論文	民俗学・文化人類学卒業論文	4通	8		2	1		兼 1	
			特殊講義	日本語学特殊講義(古代語)	3前	2				1	兼 1	
				日本語学特殊講義(現代語)	2後	2		1				
			特殊講義	日本文学特殊講義(中古)	3前	2		1			兼 1	
				日本文学特殊講義(近世)	3前	2			1			
			特殊講義	日本文学特殊講義(近代)	3前	2			1		兼 1	
				日本文学特殊講義(近現代)	2後	2		1				
			特殊講義	中国語学特殊講義(中国の諸言語)	2後	2					兼 1	
				中国語学特殊講義(音韻・文字)	2後	2		1				
			特殊講義	中国文学特殊講義	3前	2		1			兼 1	

教職関係科目	国語科教育法Ⅰ	2前・後	2					兼	1
	国語科教育法Ⅱ	2前・後	2					兼	1
	国語科教育法Ⅲ	3前・後	2					兼	1
	社会科指導法総論	2前・後	2					兼	1
	中等地理歴史教育論Ⅰ	2前・後	2					兼	1
	中等公民教育論Ⅰ	3前・後	2					兼	1
	英語科教育概論	2前・後	2					兼	1
	実践英語科教育法	3前・後	2					兼	1
	英語科教育法Ⅰ	3前・後	2					兼	1
	英語科教育法Ⅱ	3前・後	2					兼	1
	英語科教育法Ⅲ	4前・後	2					兼	1
	道徳教育A	3前・後	2					兼	1
	特別活動A	2前・後	2					兼	1
	生徒指導概論A	2前・後	2					兼	1
	教育相談・進路指導A	3前・後	2					兼	1
	教職実践演習	4前・後	2						オムニバス
	事前・事後指導	3・4前後	1					兼	1
	教育実習（中学校）	3前・後	4					兼	1
	教育実習（高等学校）	4前・後	2					兼	1

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成28年度に設置された大学等は設置時）より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
28	388	46	462	26	378	47	463	
				[Δ2]	[Δ10]	[1]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	情報処理(思考支援)	2	2	専門	選択	授業の難易度を考慮し、3年次に履修させることが望ましいと判断したため。代替措置は無。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	TOEIC準備	1	1	一般	必修	英語の授業科目を担当する組織によるカリキュラム改編のために廃止し、新たな授業科目を新設。
2	Basic English	1	1	一般	選択	
3	English Speaking	2	1	一般	必修	
4	TOEIC認定400	1	1	一般	選択	
5	英語リーディング	2	1	一般	選択	
6	英語ライティング	2	1	一般	選択	
7	英語特別演習	2	1	一般	選択	
8	Comprehensive English	2	2	一般	選択	
9	TOEIC認定500(TOEF450)	2	1	一般	選択	
10	TOEIC認定600(TOEF500)	2	1	一般	選択	
11	海外英語研修	4	1	一般	選択	日本語の授業科目を担当する組織によるカリキュラム改編のために廃止し、新たな授業科目を新設。
12	日本語1A	2	1	専門	選択	
13	日本語1B	2	1	専門	選択	
14	日本語2A	2	1	専門	選択	
15	日本語1B	2	1	専門	選択	
16	日本語1A	2	1	専門	選択	
17	日本語1B	2	1	専門	選択	
18	日本語1A	2	1	専門	選択	
19	日本語1B	2	1	専門	選択	
20	日本語1A	2	1	専門	選択	
21	日本語1B	2	1	専門	選択	

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講…授業の難易度を考慮し、3年次に履修させることが望ましいと判断する。また、学生へはオリエンテーションにより周知した。
 廃止…授業科目を担当する組織によるカリキュラム改編により、教育効果はより高くなるものと判断する。また、学生へはオリエンテーションにより周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.04}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	413,643 m ²	m ²	m ²	413,643 m ²				
	運動場用地	127,053 m ²	m ²	m ²	127,053 m ²				
	小 計	540,696 m ²	m ²	m ²	540,696 m ²				
	そ の 他	64,370 m ²	m ²	m ²	64,370 m ²				
	合 計	605,066 m ²	m ²	m ²	605,066 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		413,643 m ² (413,643 m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	413,643 m ² (413,643 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	103室	745室	787室	5室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数					
		人文学部人文学科		49 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	人文学部 人文学科	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
	計	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	13,063m ²	1590		1501056					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	6,956m ²	陸上競技場, 野球場, サッカー場 他							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金）
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
人文学部								山口県山口市吉田1677番地 1
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.04	平成28年度	
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度	平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度	平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地 1
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.05	平成10年度	
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度	平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度	平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度	平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度	平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地 1
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度	
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度	
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度	平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度	平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度	
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度	平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地 1
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度	
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度	
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.00	平成18年度	
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.07	平成18年度	
医学部								山口県宇部市南小串 1 丁目 1 番 1 号
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度	
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.02	平成12年度	
工学部								山口県宇部市常盤台 2 丁目 16 番 1 号
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度	
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.05	平成2年度	
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度	
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.02	平成2年度	
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.02	平成19年度	
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度	
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.04	平成19年度	
農学部								山口県山口市吉田1677番地 1
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.05	平成13年度	
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.02	平成13年度	

共同獣医学部 獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.03	平成24年度	山口県山口市吉田1677番地 1	
国際総合科学部 国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度	山口県山口市吉田1677番地 1	
人文科学研究科 人文科学専攻	2	8	-	8	修士（文学）	0.43	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地 1	
教育学研究科 学校教育専攻	2	10	-	23	修士（教育学）	1.20	平成3年度	山口県山口市吉田1677番地 1	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士（教育学）	1.14	平成3年度		
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士（専門職）	1.03	平成28年度		
経済学研究科 経済学専攻	2	16	-	32	修士（経済学）	0.74	昭和50年度	山口県山口市吉田1677番地 1	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士（経済学）	0.55	平成7年度		
医学系研究科（医学博士） 医学専攻	4	33	-	33	博士（医学）	1.05	平成28年度	山口県宇部市南小串 1丁目 1番 1号	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
医学系研究科（博士前期） 保健学専攻	2	12	-	24	修士（保健学）	1.20	平成17年度	山口県宇部市南小串 1丁目 1番 1号	
医学系研究科（博士後期） 応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士（医工学）	-	平成13年度	山口県宇部市南小串 1丁目 1番 1号	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士（生命科学、学術）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士（保健学）	0.80	平成19年度		
創成科学研究科（博士前期） 基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士（理学）	0.89	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地 1 山口県宇部市常盤台 2丁目 16番 1号	
地球圏生命物質科学系専攻	2	42	-	42	修士（理学）	1.01	平成28年度		
化学系専攻	2	83	-	83	修士（工学、学術）	0.92	平成28年度		
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士（工学）	1.01	平成28年度		
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士（工学）	1.00	平成28年度		
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士（工学、学術）	0.78	平成28年度		
農学系専攻	2	42	-	42	修士（農学、生命科学）	0.74	平成28年度		
創成科学研究科（博士後期） 自然科学系専攻	3	7	-	7	博士（理学、学術）	0.49	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地 1 山口県宇部市常盤台 2丁目 16番 1号	
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士（工学、学術）	0.31	平成28年度		
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士（工学、学術）	0.75	平成28年度		
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士（工学、学術）	0.95	平成28年度		
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士（医工学、生命科学、学術）	1.00	平成28年度		
理工学研究科（博士後期） 自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県山口市吉田1677番地 1 山口県宇部市常盤台 2丁目 16番 1号	平成28年度より学生募集停止
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		
東アジア研究科								山口県山口市吉田1677番地 1	

東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.53	平成13年度	
技術経営研究科 技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.00	平成17年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
連合獣医学研究科 獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.70	平成2年度	【山口大学】 山口県山口市吉田1677番地1 【鳥取大学】 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101 【鹿児島大学】 鹿児島県鹿児島市郡元1丁目21番24号

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人文学部 人文学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	
専	教授	藤永康政	平成28年4月	専	教授	竹中幸史	平成28年10月	<p>基礎セミナー 歴史学 必読名著 インターンシップ 西洋史概説 西洋史入門(アメリカ) 西洋史特講義(アメリカ) 西洋史資料基礎講義(アメリカ) 西洋史資料発展講義(アメリカ) 西洋史基礎演習(アメリカ) 西洋史発展演習(アメリカ) 西洋史卒論基礎演習(アメリカ) 西洋史卒論発展演習(アメリカ) 西洋史卒業論文</p> <p>基礎セミナー 歴史学 必読名著 インターンシップ 西洋史概説 西洋史入門(アメリカ) 西洋史特講義(アメリカ) 西洋史資料基礎講義(アメリカ) 西洋史資料発展講義(アメリカ) 西洋史基礎演習(アメリカ) 西洋史発展演習(アメリカ) 西洋史卒論基礎演習(アメリカ) 西洋史卒論発展演習(アメリカ) 西洋史卒業論文</p> <p>平成28年3月 藤永康政教授退職のため辞退(28)</p> <p>平成28年10月 竹中幸史教授新規採用(29)</p>
専	教授	坪郷英彦	平成28年4月	専	准教授	山口(加藤) 睦	平成29年4月	<p>基礎セミナー 社会学 必読名著 感性と表現(伝承文化の解説) インターンシップ 民俗学・文化人類学概論 民俗学・文化人類学特講義(伝承文化) 民俗学・文化人類学講義 民俗学・文化人類学調査実習(企画と実施) 民俗学・文化人類学調査実習(分析と報告) 民俗学・文化人類学基礎演習(伝承文化) 民俗学・文化人類学発展演習(伝承文化) 民俗学・文化人類学特講義実習(伝承文化) 民俗学・文化人類学調査実習(伝承文化) 民俗学・文化人類学調査実習(分析と報告) 民俗学・文化人類学基礎演習(伝承文化) 民俗学・文化人類学発展演習(伝承文化) 民俗学・文化人類学特講義実習(伝承文化) 民俗学・文化人類学調査実習(伝承文化) 民俗学・文化人類学卒業論文 博物館概論</p> <p>基礎セミナー 社会学 必読名著 感性と表現(伝承文化の解説) インターンシップ 民俗学・文化人類学概論 民俗学・文化人類学特講義(伝承文化) 民俗学・文化人類学講義 民俗学・文化人類学調査実習(企画と実施) 民俗学・文化人類学調査実習(分析と報告) 民俗学・文化人類学基礎演習(伝承文化) 民俗学・文化人類学発展演習(伝承文化) 民俗学・文化人類学特講義実習(伝承文化) 民俗学・文化人類学調査実習(伝承文化) 民俗学・文化人類学調査実習(分析と報告) 民俗学・文化人類学基礎演習(伝承文化) 民俗学・文化人類学発展演習(伝承文化) 民俗学・文化人類学特講義実習(伝承文化) 民俗学・文化人類学調査実習(伝承文化) 民俗学・文化人類学卒業論文 博物館概論</p> <p>平成29年3月 坪郷英彦教授辞任(29)</p> <p>平成29年4月 山口 睦准教授新規採用(29)</p>
専	准教授	岡邊 健	平成28年4月	兼任	講師	岡邊 健	平成29年4月	<p>基礎セミナー 社会学 必読名著 量的調査データ解析法基礎 課題の発見と検証 インターンシップ 社会心理学特講義(社会問題) 社会心理学講義 社会心理学調査実習(企画と実施) 社会心理学調査実習(分析と報告) 社会心理学基礎演習(社会問題) 社会心理学発展演習(社会問題) 社会心理学卒論基礎演習(社会問題) 社会心理学卒論発展演習(社会問題) 社会心理学卒業論文</p> <p>課題の発見と検証</p> <p>平成29年3月 岡邊 健准教授辞任(29)</p> <p>平成29年10月から 専任教員採用予定で 公募中(選考中)。 「課題の発見と検証」は、当該 本人が兼任教員として担当 するため、支障はない。</p>
専	准教授	赤羽仁志	平成28年4月	専	教授	上田 由紀子	平成28年4月	<p>基礎セミナー 言語学 必読名著 英語専門文献読解 英作文 言語と人間 インターンシップ 英語学概説(文法と意味) 英語学特講義(統語論) 英語学講義(統語論) 英語学演習(統語論) 英語学卒論基礎演習 英語学卒論発展演習 英語学卒業論文</p> <p>基礎セミナー 言語学 必読名著 英語専門文献読解 英作文 言語と人間 インターンシップ 英語学概説(文法と意味) 英語学特講義(統語論) 英語学講義(統語論) 英語学演習(統語論) 英語学卒論基礎演習 英語学卒論発展演習 英語学卒業論文</p> <p>平成27年3月 赤羽仁志准教授退職のため辞退(28)</p> <p>平成28年4月 上田由紀子教授新規採用(28)</p>

								基礎セミナー 必読名著 感性と表現(現代文化の解説) インターンシップ 日本文学特殊講義(近代) 日本文学基礎講読(近代) 日本文学発展講読(近代) 日本文学演習(近代) 日本文学卒論基礎演習 日本文学卒論発展演習 日本文学卒業論文	平成27年4月 教員陣容の強化を図るため 新規採用(28)
								基礎セミナー 社会学 必読名著 感性と表現(伝承文化の解説) インターンシップ 民俗学・文化人類学概論 民俗学・文化人類学特講義(近代民俗学) 民俗学・文化人類学講読 民俗学・文化人類学実習(企業と実習) 民俗学・文化人類学実習(分析と報告) 民俗学・文化人類学基礎演習(近代民俗学) 民俗学・文化人類学発展演習(近代民俗学) 民俗学・文化人類学特講義(近代民俗学) 民俗学・文化人類学特講義(近代民俗学) 民俗学・文化人類学卒業論文	平成27年7月 教員陣容の強化を図るため 新規採用(28)
								基礎セミナー 社会学 必読名著 感性と表現(伝承文化の解説) インターンシップ 民俗学・文化人類学概論 民俗学・文化人類学特講義(伝承文化) 民俗学・文化人類学講読 民俗学・文化人類学実習(企業と実習) 民俗学・文化人類学実習(分析と報告) 民俗学・文化人類学基礎演習(伝承文化) 民俗学・文化人類学発展演習(伝承文化) 民俗学・文化人類学特講義(近代民俗学) 民俗学・文化人類学特講義(近代民俗学) 民俗学・文化人類学卒業論文	平成28年4月 教員陣容の強化を図るため 新規採用(28)
								基礎セミナー 文学 必読名著 時事英語 英米事情 インターンシップ 英米文学史(アメリカ) 英文学特殊講義(アメリカ) 英文学講読(アメリカ) 英文学演習(アメリカ) 英文学卒論基礎演習 英文学卒論発展演習 英文学卒業論文	平成28年4月 教員陣容の強化を図るため 新規採用(28)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
25	17	3	0	45	23	18	3	0	44	24	18	3	0	45
(22)	(19)	(3)	()	(44)						[Δ 1]	[1]	[]	[]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記 (A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記 (B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	藤永 康政	必修	基礎セミナー	①	平成28年3月31日付け辞職のため辞退（28）			
			必修	歴史学	①				
			必修	必読名著	①				
			選択	インターンシップ	①				
			選択	西洋史概説	①				
			選択	西洋史入門(アメリカ)	①				
			選択	西洋史特殊講義(アメリカ)	①				
			選択	西洋史資料基礎講義(アメリカ)	①				
			選択	西洋史資料発展講義(アメリカ)	①				
			選択	西洋史基礎演習(アメリカ)	①				
			選択	西洋史発展演習(アメリカ)	①				
			選択	西洋史卒論基礎演習(アメリカ)	①				
			選択	西洋史卒論発展演習(アメリカ)	①				
			選択	西洋史卒業論文	①				
2	准教授	赤羽 仁志	必修	基礎セミナー	①	平成27年3月31日付け辞職のため辞退（28）			
			必修	言語学	①				
			必修	必読名著	①				
			選択	英語専門文献読解	①				
			選択	英作文	①				
			選択	言語と人間	①				
			選択	インターンシップ	①				
			選択	英語学概説(文法と意味)	①				
			選択	英語学特殊講義(統語論)	①				
			選択	英語学講読(統語論)	①				
			選択	英語学演習(統語論)	①				
			選択	英語学卒論基礎演習	①				
			選択	英語学卒論発展演習	①				
			選択	英語学卒業論文	①				
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	22 科目	選択	22 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	28 科目	計	28 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	坪郷 英彦	必修	基礎セミナー	①	平成29年3月31日限り定年退職のため辞任 (29)			
			必修	社会学	①				
			必修	必読名著	①				
			選択	感性と表現(伝承文化の解説)	①				
			選択	インターンシップ	①				
			選択	民俗学・文化人類学概論	①				
			選択	民俗学・文化人類学特講義(生活文化)	①				
			選択	民俗学・文化人類学講読	①				
			選択	民俗学・文化人類学調査実習(企画と実施)	①				
			選択	民俗学・文化人類学調査実習(分析と報告)	①				
			選択	民俗学・文化人類学基礎演習(生活文化論)	①				
			選択	民俗学・文化人類学発展演習(生活文化論)	①				
			選択	民俗学・文化人類学卒業基礎演習(生活文化論)	①				
			選択	民俗学・文化人類学卒業発展演習(生活文化論)	①				
自由	博物館概論	①							
2	准教授	岡邊 健	必修	基礎セミナー	③	平成29年3月31日付け辞職のため辞任 (29)			
			必修	社会学	③				
			必修	必読名著	③				
			選択	量的調査データ解析法基礎	③				
			選択	課題の発見と検証	②				
			選択	インターンシップ	③				
			選択	社会心理学特講義(社会問題)	③				
			選択	社会心理学講読	③				
			選択	社会心理学調査実習(企画と実施)	③				
			選択	社会心理学調査実習(分析と報告)	③				
			選択	社会心理学基礎演習(社会問題論)	③				
			選択	社会心理学発展演習(社会問題論)	③				
			選択	社会心理学卒業基礎演習(社会問題論)	③				
			選択	社会心理学卒業発展演習(社会問題論)	③				
選択	社会心理学卒業論文	③							
合計 (C)			後任補充状況の集計 (D)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
2	人	必修	6 科目	必修	3 科目	必修	0 科目	必修	3 科目
		選択	24 科目	選択	12 科目	選択	1 科目	選択	11 科目
		自由	1 科目	自由	1 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	31 科目	計	16 科目	計	1 科目	計	14 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3) ① ・ (3) ② の合計

合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
4	人	必修	12 科目	必修	9 科目	必修	0 科目	必修	3 科目
		選択	46 科目	選択	34 科目	選択	1 科目	選択	11 科目
		自由	1 科目	自由	1 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	59 科目	計	44 科目	計	1 科目	計	14 科目

- (注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」
「課題の発見と検証」を除き、後任補充済み若しくは後任補充の予定である。「課題の発見と検証」については、開講時期の関係上、当該本人が兼任教員として担当している。
「学生への周知方法」
在学生には、4月のオリエンテーションの際に周知している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人文学部 人文学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD部会を設置し、FD研修の企画・実施を行っている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 必要に応じて開催している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FDの推進に関する実施計画 ・教員研修の実施計画 ・教育内容や方法等の改善策 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>人文学部FD部会主催研修会（基礎セミナー合同授業の内容検討会） 平成28年5月18日 ピアレビュー（基礎セミナーに関する授業公開） 平成28年5月20日 学生特別支援室FD/S D研修会（相談対応状況から見る学生ニーズの傾向とSSR利用方法） 平成28年9月21日 教育改善研修会（指定研修）（3つのポリシーの見直し—YU CoB CuS の導入に向けて—） 平成28年10月19日 アラカルト型研修会（就職・採用時期の変更と山口大学の就職支援） 平成28年11月16日</p> <p>b 実施方法 FD部会を中心に実施している。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>平成28年5月18日 43名出席 平成28年5月20日 基礎セミナー6クラスのうち5クラスの授業を公開 平成28年9月21日 43名出席 平成28年10月19日 43名出席 平成28年11月16日 43名出席</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>研修を通じ全教員が本学部が養成する人材について、理解を深め、共通認識を持った上で授業を運営出来るよう、意見交換を行った。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 各クォーター終了時に実施している。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 アンケート終了後、担当教員のみ結果を通知している。</p>

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>平成28年度に開設し、現在まで順調に推移している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおりに実施していきたい。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>・平成30年3月 公表予定</p> <p>b 公表方法</p> <p>・山口大学活動白書を作成し、大学ホームページにて公開を行う予定。</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・平成27年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受審。次回受審年度は、検討中。</p>
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (29 年 9 月 1 日)</p>
